

令和4年度第58回中国地区高等専門学校体育大会卓球競技  
新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン

令和4年6月1日 作成  
令和4年6月22日 改定

## 【1】はじめに

令和4年度第58回中国地区高等専門学校体育大会卓球競技が、選手・監督及び大会に参加するすべての方々の安全と安心を確保し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を徹底した大会にしたいと考えております。

つきましては、（公財）日本卓球協会の新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関するガイドラインを基準として、『令和4年度第58回中国地区高等専門学校体育大会卓球競技新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン』を作成しました。

なお、ここに述べる感染対策は、現段階で得られている知見に基づくものであり、今後の科学的根拠の蓄積や、流行状況の変化に応じて随時変更されてゆくべきものですので、適宜改訂を予定しております。ご利用の際には最新版であることをご確認ください。

また、この基本方針に従うことで必ず感染を防御できるというのではなく、その時の環境、感染状況等を考慮して、現場にいる方々の適切な判断で、臨機応変な対応が必要となりますので、御協力をお願いいたします。これを遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあります。

## 【2】大会開催留意事項について

### 1) 競技開催について

- ① 本大会は、選手・役員等をはじめ大会関係者全員の安全・安心の確保を最優先事項とする。
- ② 大会実施の可否、実施時における競技運営における重要事案の決定については、開催地区である広島県の定める大会実施におけるガイドラインに準拠したうえで、大会役員で審議、決定する。
- ③ 参加校の競技登録部員と監督・コーチ等の外部指導者、補助部員と引率者、大会役員（以下「大会参加者」という。）は、大会2週間前から大会参加終了日まで毎日検温し、「健康チェックシート（様式1）」を記入し、万が一感染が発生した場合に備え、各校顧問は2週間以上保存しておくこと。これは、各学校独自の様式や体調管理システムに置き換え可能とする。
- ④ 顧問は、「健康チェック各日提出用シート（様式2）」を大会参加期間中の毎日、受付で提出すること。
- ⑤ 開催担当校は、顧問から提出された「健康チェック各日提出用シート（様式2）」について、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、2週間以上保存しておくこと。
- ⑥ 大会参加者に陽性者が確認された場合には、保健所や医療機関の指示に従うこと。
- ⑦ 大会参加者は、大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は開催担当校に対して速やかに報告すること。開催担当校は、報告があった場合には、会場等で同一空間に居た者の在籍する学校長に対し、陽性者が発生したことについて情報提供を行うこと。
- ⑧ 今後の状況の変化により、大会の中止、大会日程等の変更等、急な変更が生じることもあり得る。

### 【3】競技運営について

#### 1) 会場への入場

- ① 観客として登録制での大会参加者親族を入場可能とした開催とする。館内への入場は、各校、極力人数を抑える。参加者は「健康チェック各日提出用シート（様式2）」に記載すること。
- ② 観客は土日のみ入場可能で、入場初日に「観客健康チェックシート（様式3）」を受付で提出すること。入場2日目は「観客2日用健康チェックシート（様式4）」を受付で提出すること。観客全員に入場パスを配布するので、常時携行すること。このパスが無い者は、会場への入場はできない。
- ③ 大会参加者は各校で定められた名札を常時携行し、入場パスの代わりとする。外部指導者に入場パスを配布するので、常時携行すること。このパスが無い者は、会場への入場はできない。
- ④ 観客は事前に「入場登録申請書（様式5）」にて登録申請すること。
- ⑤ 元教職員など各校関係者等の観客入場は相談に応じる。
- ⑥ 観客の観戦席は選手とは別のエリアとなり、会場内での観客と選手の接触を禁止する。
- ⑦ 今後の状況の変化により、観客入場の取り止め等、急な変更が生じることもあり得る。

#### 2) 開会式

今後の感染状況により、必要最小限の規模での実施を検討する。

#### 3) 各表彰

簡素化して実施する。

#### 4) 閉会式

簡素化して実施する。

### 【4】主催者が配慮する感染防止策について

#### 1) 全てのエリア

- ① 消毒剤の設置をする。
- ② 換気を適切に行なう。

#### 2) アリーナ

- ① 卓球台は適切な間隔を開けて設置する。
- ② 卓球台は試合毎消毒をする。1試合で消毒済みボールを1個使用する。
- ③ 団体戦では卓球台を4台使用する。

#### 3) 練習会場

- ① 密にならないような、練習台割当を作成する。
- ② 卓球台の消毒をこまめに行う。

#### 4) 会場入り口、受付

- ① 受付には、手指消毒剤を設置する。
- ② 受付を行うスタッフには、マスクを着用させる。
- ③ 発熱や咳・咽頭痛等の症状が酷い場合は、入場しないよう注意を促す。

大会参加者から、「健康チェック提出用シート（様式2）」を毎日提出してもらう。なお、個人情報取扱いに十分注意する。

## 【5】大会参加者および観客の感染防止策について

- 1) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加および観戦を見合わせていただく。
  - ① 体調がよくない場合。（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - ② 同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる場合。
  - ③ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

### 【大会参加について】

- 1 参加校は大会参加について、適切に判断すること。
- 2 開催担当校および大会役員は、大会参加者及び大会役員の大会関係者に、当日 37.5℃以上の発熱がある場合や風邪症状（咳・咽頭痛、だるさ・息苦しさ、味覚・臭覚障害等）がある場合は、大会に参加させないことを徹底すること。
- 3 大会期間中に、大会関係者（参加者及び役員）の体調不良を確認した場合、大会救護係や医療機関及び保護者等と連携を図り、対策を講じる。特に学生については、体調を確認するとともに、安全に帰宅させる等の対応をすること。

- 2) マスクを持参し、卓球を行っていない時や会話をする際にはマスクを着用すること。
- 3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 4) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること。
- 5) 登録観客のみ入場の試合とし、参加申込書に記載の無い選手は、入場できないこととする。
- 6) 会場で大きな声で会話、応援等をしないこと。
- 7) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- 8) 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、開催担当校に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- 9) 大会前後のミーティングでは、密を避けること。
- 10) 観客席でも密にならないように間隔を開けて席に座ること。
- 11) ごみについては、各学校で必ず持ち帰りの徹底をすること。
- 12) 昼食をとる際も周りとの距離を取り、向かい合って取らないこと。

## 【6】監督、引率責任者の留意事項

- ① 学校長に認められた引率者の引率がないと試合に参加できない。
- ② 引率者は、「健康チェックシート（様式1）」で大会参加者の体調・体温を把握し、「健康チェック提出用シート（様式2）」を大会参加期間中の毎日、受付で提出すること。
- ③ 引率責任者は、大会参加者がマスクを準備しているか確認するとともに、着用について指導すること。なお、競技中のマスク着用は大会参加者の判断によるものとするが、参加の受付、着替え、表彰式等の競技を行っていない間、特に会話をする時には、マスクを着用すること。
- ④ 大会前後のミーティング等においても、三つの密を避けること、会話時にマスクを着用する等の感染対策に十分配慮すること。密にならないように注意する。

## 【7】選手の留意事項

- ① 試合のとき以外はマスクを着用すること。

- ② 試合前のラケット交換は、相手に渡さず、自分で相手に見せること。
- ③ 試合中、ベンチでの応援は声を出さずに、拍手のみで行うこと。
- ④ 卓球台の上で手を拭いたり、シューズの裏を手で拭いたりしないこと。
- ⑤ 試合中、過度な発声はしないこと。
- ⑥ 握手などの身体を接触させる挨拶は行わない。
- ⑦ ゲームごとのチェンジエンドは実施する。
- ⑧ 試合のないときは、観客席等で人との距離を保ち、声を出しての応援はしないこと。
- ⑨ タオルの共用はしない。こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行う。
- ⑩ 飲料は自分専用のものを飲み、回し飲みはしない。

## 【8】新型コロナウイルス感染症を罹患及び罹患の疑いがある場合の対応

### 1. 大会前の各学校における対応

#### 【大会に参加する部活動の部員が罹患した場合】

校長は、試合参加の辞退について開催担当校に連絡し、開催担当校は大会役員に報告する。

#### 【大会に参加する部活動の部員が濃厚接触者となった場合】

- ① 校長は、当該部員の試合参加の辞退について開催担当校に連絡し、開催担当校は大会役員に報告する。
- ② それ以外の指導者、部員で試合参加可とする。

※ この基準は目安であり、各学校の基準や判断が優先される。

### 2. 大会当日の各会場における対応

(発熱等の風邪症状、息苦しさ、強いだるさ等の症状がある場合)

- ① **引率者**は、当該部員を安全に帰宅させ、症状がなくなるまでは自宅休養するよう指導する。
- ② **引率者**は、開催担当校に報告するとともに、自校管理職へ報告し対応の指示を受ける。
- ③ **開催担当校**は、安全に帰宅できるまでの間、会場にとどまるケースを想定し、他の者と接触を避けられるよう、別室で待機させるなどの配慮を行う。
- ⑤ **開催担当校**は、大会役員に報告する。

### 3. 大会参加者が大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合の対応

#### ※ 各学校での対応

- ① **学校**は、保健所の指示に基づき、当該大会参加者の情報収集、濃厚接触者の特定、他の学生等及び教職員の健康状態を把握する。
- ② **開催担当校**は、保存している大会当日の時程、待機場所、運営の詳細等を学校及び保健所に情報提供する。
- ③ **引率者**は、保存している大会当日の時程、出席学生の行動記録等を学校及び保健所に情報提供する。
- ④ **校長**は、把握内容を開催担当校へ連絡し、開催担当校は各校に報告する。

### 4. 観客が大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合の対応

- ① **観客**は、把握内容を開催担当校へ連絡し、開催担当校は各校に報告する。